



はちろうがた

2008年10月 97号

議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

☎ 018-875-5810



高度浄水処理施設祈願



(総務教育) 八小テニスコートフェンス点検


 八郎潟町高度浄水処理施設整備工事
祝 安全祈願祭
 水機・中田・創和 特定建設共同企業体




(民生産業) 墓地公園進捗状況

- ◆ 2ページ 一般質問
- ◆ 3～6ページ 審査報告
- ◆ 6ページ 委員会審議
- ◆ 7ページ 議員研修・議員大会
- ◆ 8ページ 請願・陳情

一 般

質

問



金 一義 議員

公会計の整備推進はその後どのようなになっているか

問 総務省自治財政局長から「公会計の整備推進について」と題した通知が、本町にも連絡されていることと思いますが、その通知に対してどのような対応しておるか。私の昨年6月の質問に対する答弁に、総務省もバラ

ンスシートの作成基準を公表しているので早急に取り組んで行きたいので今準備中である、と答弁されています。その後の経過と現状をお知らせください。また、現在の職員で貸借対照表など4表に精通している職員がどれだけのいるかどうか。表を作成する職員が不明でいて、住民に分かりやすく公表することは不可能であるので、職員教育はどのようなになっているか。

答 総務省から通知はきています。また3名の職員が県の研修に参加している。21、22年度まで作成出来る様になっている。県の指導に従っている。

町長自身任期中に公約の実施は計画通り進んだのかその達成度は

問 これまでの町長の評価であります。農業分野、産業分野、あるいは教育、福祉分野等の、行政を担ったわけでありますが、ご自身が考えていた事もなかなか実現出来なかったことと思います。しかしご自身の評価として何パーセントぐらいの評価になると思うか。各分野に付いて答弁を頂きたいと存じます。

答 教育、民生、産業の各分野にわたり実施しました。達成度は80%である。

7月15日の臨時議会での高度浄水処理施設導入についての責任を取るとの発言の真意について

問 高度浄水処理施設整備の請負契約についての質問にさいして、町長の答弁は、今後もし、このシステムを導入後町民に迷惑を掛けるようなことがあれば、自分が責任を取ると答えましたが、システムが正常に稼働しない場合に、メーカー補償期間が過ぎた後でも、町長が責任を取ると、捉えてよろしいでしょうか。この発言で賛成に回った議員もおおいでと思えますから再度確認します。

答 この発言は取り消します。

工場誘致条例の見直しと関東・関西方面に県と同行したその後の町の対応策と結果について



佐藤 長 議員

問 副町長は何回も同行しているが議会に何の報告もない。立地条件が最高の八郎潟町。高速道、国道7号に近い一里四方の街である。平地であれ山麓であれ如何様にもなる。採用員数の減少、資産税の延長等現条例を見直すべきであるが如何に。

答 昭和43年に制定し、改正はない。秋田県企業誘致促進協議会に加入している。今後良く協議し、

県と一体となり、対策を真剣に考えねばならない。
八郎湖東岸堤（三枚橋く三倉鼻）までの除草について県に対する要請はどの様な方法で、その結果を具体的に示せ。

問 昨年は国営造成施設管理体制整備促進事業で実施した。今年は県の「ふれあい川美化の事業」予算があった。20年は156,000円。21年よりは年2回で約475,200円で数年間事業は出来る。町でなぜ早く県に要請出来なかったか。

答 19年9月6日に県に願ったが出来なかった。振興局に現場写真を提供、対応策を願った。県の意向は2回の草刈としている。

確保のため、さらに一歩踏み込んだ収納対策に取り組んでいた、きたい。

(2) 条例の施行及び各種事業の推進にあたっては、十分にその推進体制を整え責任のある実施を図っていた、きたい。

(3) 厳しい財政状況に鑑み、財源の確保と歳出の見直しを行いながら、行政改革を推進し、常に健全な財政運営に心がけるようお願いしたい。

(4) 歳入の確保にあたっては、町有財産の処分を含め真剣に取り組んでいた、きたい。

以上の項目について、総務教育常任委員会として指摘するとともに、これまで指摘された事項についても早急に検討を加え、町民の負託に応えるよう望みます。

また、各種事業の展開と行政の執行にあたっては、常に議会に対し早期かつ事前に詳細な説明を行うとともに、予算編成並びに支出において、町民に疑念をいだかれないよう特段の配慮を望むも

のである。

◆ ◆ ◆
以上、採決の結果、満場一致で認定すべきものと決定しました。

民生産業

予算執行の実績と効果について

予算執行の効果について、平成19年度に計画された事業は、予定どおり実施されており、その主なものは、町民福祉課関係では、

- (1) 福祉医療事業
- (2) 障害者福祉事業
- (3) 老人福祉事業
- (4) 児童福祉事業
- (5) 保健衛生事業
- (6) 清掃事業
- (7) 消防事業

これらに対する主な歳入は、国・県支出金が2億90万3千円、その他の歳入が5,613万1千円となっております。一方歳出では、

- 総務費
- 2,277万6千円
- 民生費
- 5億1,820万5千円

衛生費

4億120万5千円
消防費
2億4,919万4千円

が歳出内訳となっております。なお、19年度の新規事業などでは、

- ・高齢者健康実態とこころの健康調査事業
- ・町営墓地公園に係る土地購入事業
- ・後期高齢者医療制度創設に伴うプログラム修正事業及び広域連合への負担金
- ・可燃ゴミ処理施設の解体及び新設に伴う負担金
- ・防災情報通信施設設置事業

などがありません。次に産業建設課産業振興班関係では、

- (1) 農業夢プラン事業
- (2) 新農業水利システム保全対策事業
- (3) 農地・水・農村環境保全向上活動支援事業
- (4) 観光事業

これらに対する主な歳入は、県支出金が596万2千円、その他の歳入

- 1,027万1千円となっており、
- 一方歳出では、
- 農林水産業費
- 9,477万7千円
- 商工費
- 2,603万円

が1,027万1千円となっており、

一方歳出では、農林水産業費9,477万7千円、商工費2,603万円などが歳出の内訳となっております。

次に産業建設課建設水道班関係では、

- (1) 道路維持舗装事業
- (2) 住宅管理事業
- (3) 除雪対策費
- (4) 公共下水道事業特別会計繰出金

これらに対する主な歳入は、土木使用料が3,719万8千円となっております。一方歳出の主なものは、

- 土木管理費
- 3,186万2千円
- 道路維持舗装費
- 2,593万2千円
- 除雪対策費
- 1,886万1千円
- 住宅管理費
- 467万4千円
- 公共下水道事業特別会計繰出金
- 1億1,566万6千円

となっており、

して住宅使用料の未収については、なお一層の徴収努力をしていただきたい。

また、当委員会では、9月8日、両課に係る①町営墓地公園造成工事現場、②町道三倉

鼻2号線道路改良工事現場の2箇所の現場視察を行っております。

◆ ◆ ◆
審査の結果、満場一致で認定すべきものと決定しました。

議案第73号

平成19年度八郎瀧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

民生産業

19年度国民健康保険総医療費は、12億3,218万3千円で前年対比7.6%の増となっております。

また、一人当たりの医療費は、前年対比10.3%増で、一世帯当たり医療費は、7.8%増となっております。

予算執行による収支差引残高9,133万9千円、

議案第74号

平成19年度八郎瀧町上水道特別会計歳入歳出決算認定について

民生産業

(1) 収益勘定における水道

事業収益は、年間有収水量が対前年度比で1万7,830立方メー

審査の結果、満場一致で認定すべきものと決定しました。

支援2への予防サービス給付費1,541万円が純増となっております。

19年度から新予防給付が開始したことに伴い、地域包括支援センターを4月1日設置。高齢者の介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的に支える拠点として運営されており。

地域支援事業では要介護高齢者及びその家族等に対し、要介護状態等にならないための介護予防サービス・生活支援サービスなどを提供し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援しております。

なお、委員会の意見として介護保険料の未収については、なお一層の収納に努めていただきたい。

◆ ◆ ◆
審査の結果、満場一致で認定すべきものと決定しました。



各常任委員会の審議

総務教育 常任委員会

を検討したい。

問 一般会計補正予算(第4号)における備品購入費の227千円は、歩行的の草刈機を購入し、仕事の合間を見て職員が果たるとの事であるが職員減でもあり本来の職務に専念するよう見直すべきでないか？

答 平成17年度からの自立計画に基づき、できるだけ町有地の草刈を職員で対応して来た。通常の草刈機ですと、危険性、能率の面で劣るので、歩行的の草刈機の購入費を計上した。

平成17年度から15名の職員が減っている事もあり、通常勤務に支障をきたさないよう留意しながら実施したい。
職員が減っている事もあり、限界を感じているのが実情である。見直し

問 同じく徴税費の還付金6,175千円の詳細について

答 平成19年に所得が減った方が対象である。平成19年度分の住民税額から、税源移譲により増額となった住民税相当額を減額し、納付済者に還付するものである。本町の対象者は268人いる。還付には申請が必要であり、7月中に還付申請を出した人は240人いる。残りの28人には、再度申請を促す。

問 平成19年度一般会計決算における収支状況と、必要と思われるが？

答 平成19年度の徴税徴収率は、96・8%となっているが社会状況を反映し、未納額が年々増加す

る傾向にある。町では全職員で、収納対策を展開しているが、職員60人体制では、限界を感じている。県の支援をおおいでいるが、町に徴収専門者が必要であり、実現していない。

他町村の例を参考にしながら、今後検討しなければならぬ。

民生産業 常任委員会

問 浦大町塞ノ神地区に墓地公園造成工事をすすめているが、完成予定が11月21日となっている。分譲数が不確実な段階で、なぜ60個分の永代使用料収入を計上したのか、存置項目だけを置くとか、ある程度見通しのつく、12月に補正予算で置いても良かったのではないかと、歳入欠陥があってはならない。

答 アンケート調査ではおよそ、70個程の希望があった。工事完成後すみやかに見学会をひらき、希望者の取りまとめを行い、11月下旬から12月中旬には契約を取りかわしたい。収入に見込んだ60個は下まわることのないよう販売に努力する。

問 米の生産調整に伴い、長年転作もされずに放置されている田んぼが散見される。特にほ場整備された田んぼの場合はもったいない。転作扱いはされているのか。放置されている現状からすれば、隣接農地の関係からしても改善指導すべきだと思われるがどうか。

答 保全管理として転作にカウントされている。しかし荒れ放題の場合があれば、今後指導する。場合によっては転作から除外することもありうる。取り敢えず、農業委員

会の農地パトロールで確認してもらいたいと考えている。

問 税・使用料等において、収入未済額が増えるあるいは、不納欠損としての処理が増加傾向にある。同じケースが繰り返されているのではないかと、町民の行政から受けるサービスに不平等感があるのではないか、どのようにして改善しようとしているのか。法手続きも踏まえ、真剣に検討すべきではないか。

答 町では庁内で相談し、検討しながら、未納者と連絡をとって徴収に努めている。ただたんに訪問徴収するだけでは、なかなか効果があがらない。同じ人が数種類未納していることもあり、繰り返し、不納欠損処理を繰り返している場合もある。今後、税務班とも相談しながら、更に効果のある方向で検討し、努力していきたい。

議員研修

2008年7月22日

八郎潟町農村環境改善センター



秋田県町村議会議員研修会

2008年8月1日



南秋田郡町村議会議員大会

2008年8月29日

八郎潟町農村環境改善センター



大会決議

- 一、八郎湖水質浄化の抜本的な対策の早期推進を期する
- 一、松くい虫被害対策及びヤマビル被害対策の一層の推進を期する
- 一、秋田中央地区広域農道の県道昇格を期する
- 一、湖東総合病院の改築の早期実現を期する

■ 請願・陳情

請願・陳情等の件名	請願・陳情者氏名	審査委員会	本会議結果
政府・厚生労働省へ 後期高齢者医療制度中止・撤回の意見書採 択を求める陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	民生産業	不採択
教育予算の拡充を求める意見書採択につい ての陳情書	秋田県教職員組合 男鹿南秋支部支部長 佐藤 寿 芝	総務教育	採 択
生活品の物価高騰に対する緊急対策を求め る意見書採択に関する陳情書	連合秋田・男鹿南秋地区連絡会議長 小玉 俊 己	民生産業	採 択
社会保障関係費の2200億円削減方針の撤回 を求める意見書採択に関する陳情書	連合秋田・男鹿南秋地区連絡会議長 小玉 俊 己	民生産業	採 択
地方財政の充実・強化を求める意見書採択に 関する陳情書	連合秋田・男鹿南秋地区連絡会議長 小玉 俊 己	総務教育	採 択



議会のうごき

<p>7月</p> <p>1日 湖東地区行政一部事務組合議会定例会</p> <p>8日 南秋議長会連絡協議会 於 大潟村</p> <p>11日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会 定例会</p> <p>15日 議会運営委員会 第5回臨時会</p> <p>18日 例月出納検査</p> <p>22日 八郎潟町議員研修会 於 八郎潟町農村環境改善センター</p> <p>25日 五城目町・八郎潟町県道整備促進 期成同盟会</p> <p>27日 男鹿南秋支部消防団ポンプ操法大会</p> <p>29~30日 19年度決算監査</p> <p>8月</p> <p>1日 秋田県町村議会議員大会 於 市町村会館</p> <p>5日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨時会</p> <p>5~6日 19年度決算監査</p> <p>15日 成人式</p> <p>18日 例月出納検査</p> <p>18日・20日 一日市盆踊り</p> <p>26日 八郎潟町長選挙告示</p>		<p>8月</p> <p>27日 県議会議会派「みらい21」来庁</p> <p>28日 議会運営委員会</p> <p>29日 南秋田郡町村議会議員大会 於 八郎潟町農村環境改善センター</p> <p>31日 八郎潟町長選挙投票日</p> <p>9月</p> <p>3~11日 9月定例会</p> <p>4日 広報編集委員会</p> <p>9日 高度浄水処理施設安全祈願祭 於 浄水場</p> <p>10日 敬老式・高齢者福祉大会 於 農村環境改善センター</p> <p>12日 広報編集委員会</p> <p>18日 広報編集委員会</p> <p>19日 例月出納検査 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合例月 出納検査</p> <p>23日 土橋町長任期満了</p> <p>24日 畠山町長初登庁 広報編集委員会</p> <p>25日 全県ゲートボール八郎潟大会</p> <p>27日 幼稚園運動会</p>
---	--	---

米国で発生したサブプライムローンは全世界に影響を及ぼし、とどまることを知らない。また原油・穀物の高騰で経済は混乱し景気回復は依然不透明である。加えて9/2福田首相が突然の辞意表明。まさに青天の霹靂である。日本の経済は先行きどうなるのかと誰もが不安に駆られている。首相の退陣表明は国際的な信用も落とした。麻生首相には財政再建、社会保障、景気対策など重要課題が山積している。一刻も早く国民が安心できる政策に取り組んでほしい。

本町では8/31に行われた町長選挙で「無駄を省き財政健全化」「自汗を流して職員のアイディアを採り入れる」などの政策を町民に訴え初当選した畠山菊夫さんおめでとう。八郎潟町が「人・環境・文化のきらめく」町になるよう頑張つてほしい。また、今まで八年間行政の舵取りをしてきた土橋多喜夫氏、長い間ご苦労様。今後は健康に留意され行政へのアドバイスをよろしく願います。(伊藤)

編集後記